

令和4年度 会館だより 第2号

令和4年度

公益財団法人岩手県学生援護会理事会 並びに評議員会報告

令和4年度公益財団法人岩手県学生援護会第2回理事会並びに第2回評議員会は現在のコロナの状況を鑑み、評決方式（郵送）による決議となりました。令和3年度事業報告、収支決算報告は共に承認されました。さらに、任期満了となる役員の中で、松橋代表理事、砂金業務執行理事、坂本理事、村井評議員が評議員会に再任候補として、また、小野寺評議員を初の女性理事に推薦することが全員の承認を得て決議されました。太田副代表は高齢なことから、退任のご意思が固く、ご本人の意思を尊重することとなりました。理事会において決議されたことを受け、評議員会において審議した結果、議案どおり承認されました。

また、それを受け、再度理事会を開催し、新三役の選出を行い松橋代表、砂金業務執行

公益財団法人岩手県学生援護会新役員

岩手県学生会館

令和 4年 6月 30日 発行

理事が再任されました。太田副代表の後任には2月から理事を務めておられる永田浩一様にご就任いただくことになりました。

なお、付記いたしますが、今年度から新たに石森様と桜庭様が第一回の理事会並びに評議員会で承認を受け、評議員に就任いただいております。また同時に、岩手日報社の人事異動により、菅原様が東京支社長就任ということから評議員に就任いただきました。

おって、太田副代表は、理事は退任なされましたが、顧問として久しく当援護会の顧問としてご指導いただきこととなりました。当援護会設立の力となった在京岩手学生会の実質上の代表を務める傍ら、平成4年から援護会の評議員・理事として30年の長きにわたって、類い稀なる人望と幅広い知識、的確な判断力を持って岩手寮・岩手学生会館の発展にご尽力いただきました。

次に役員並びに学生会館職員をご紹介します。

令和4年度

公益財団法人岩手県学生援護会役員

◎代表理事

松橋 公治（明治大学教授）



◎副代表理事

永田 浩一

◎業務執行理事

砂金 良明

（元東京放送総務部長）

◎理事

佐々木裕二

（前岩手県学生会館館長）

坂本 巳由

（社会福祉法人評議員）

小野寺麻利子

（作家 藤沢摩彌子）

◎評議員

菅原 智広（岩手日報社取締役東

京支社長）

松本 真一（岩手銀行執行役員東

京営業部長）

柴田彩千子

(東京学芸大学准教授)

及川 良一

(大学入試センター参与)

村井 雄一 (中央コンピューター
システム代表取締役社長)

石森 寛 (画家)

桜庭 昌吾

(野田はまなす会顧問)

○監事

平井 省三

(岩手県東京事務所長)

千葉 健夫

(社会保険労務士)

○相談役

谷藤 裕明 (岩手県市長会)

青木 幸保 (岩手県町村会)

千葉 幸也 (岩手県総務部長)

佐藤 博 (岩手県教育長)

○顧問

志賀かう子 (エッセイスト)

鈴木 勲 (日本弘道会会長)

太田 知行

(在京岩手学生会会長代行)

学生会館職員

◎館長

○書記

中塚 真

樺澤理恵子

主たる委託業者

・建物包括管理

二幸産業株式会社

・給食業務

株式会社グリーンハウス

・日常清掃

株式会社ワールドクリーンアップ

来館者紹介

新年度になって学生会館OB・OGの方、並びに関係者(盛岡第一高校校長並びに旧寮生保護者)の来館がありました。ご紹介いたします。

5月14日

梅津久仁宏様(盛岡一高校長)

5月30日

梅津 春希様

(令和元年度卒業)

お別れの言葉

様々なことを経験させていただきました。定年退職後の仕事としてこれほど充実したものはなかったのではないかと思います。そういう機会を与えてくださり、また業務遂行に対し、心からのご支援をいただいた役員並びに関係者の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

また、高校教育に携わった者として、このような施設を運営していただいている公益財団法人岩手県学生援護会に対し、尊崇の念をもって感謝申し上げます。

さて、学生の皆さん、親の愛、師の愛、仲間への愛、天地の恵を常に念頭に置き生きていけば、道、過たず。さようなら、お元気で。

館長 佐々木 裕二

急に居なくなってしまう、困惑している人もいるかもしれません。心苦しくて事前にお伝えすることは出来ませんでした。ごめんなさいね。

会館は一つの家族でした。日々、お母さんの雑用をこなし、不意にやってくる様々なアクシデントに対処しながら皆さんの成長を見守ってきました。これからは盛岡で皆さんのことを想っています。それぞれの道を頑張ってください。今までありがとうございます。

寮母 佐々木 由美

6月8日

松本 駿 様

(令和2年度卒業)